

見て・読んで
考えよう!

★NIEは、Newspaper in Education (教育に新聞を)の略です

レッツチャレンジNIE



第79回

沖縄はプロ野球キャンプの真っ最中ですね。来月にはワールド・ベースボール・クラシック(WBC)もあります。今回は、県出身プロ野球選手についてのコラムを取り上げます。読んで、以下の問いに答えましょう。

2023年2月10日

金口木舌

3月開催のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表に選ばれた30人のうち3人を県出身者が占めた。高校野球で沖縄が「弱小」と言われたことを思えば、隔世の感がする

▼もう一つ勇気付けられるのは彼らの人柄。宜野湾市出身のオリックス宮城大弥投手は生活が苦しい少年時代を送った。使っていたグラブは700円。苦しい中でも野球を続けさせた父と努力を重ね、プロになった▼宮城投手は基金を設立し、同じ境遇の野球少年・少女を支援する。西武の山川穂高選手も首里城が焼失した時、出身の那覇市に再建資金の500万円を寄付した▼先日、中日に1位入団した仲地礼亜投手が母校の読谷村立古堅南小で講演した。仲地選手は少年たちとキャッチボールし、重圧を超えて夢をかなえるアドバイスをしていた。終始、優しい語り口だった▼ファンやメディアに追いかけられる日々。常人ならてんぐにもなってしまうそうだが、選手たちの精神力と使命感を感じる。後進を支え、故郷を思い行動する彼らは本物の憧れの存在だ。

【1】「隔世の感」の意味を調べてみましょう。どう使うかわかるのか、例文も参考にしてみてください。

(例文) スマホがなかった自分の学生時代を思うと隔世の感がある。

[]

【2】 筆者が勇気をもらえると挙げている3人の県出身選手の共通点は何ですか。漢字2字で抜き出してみましょう。

また、3人がそれぞれ取り組んだことが、この後どういうことにつながっていくと考えられるか、書いてみましょう。

共通点

宮城選手 []

山川選手 []

仲地選手 []

【3】 「てんぐになる」と同じ意味を持つ言葉を調べてみましょう。

[]

【4】 「本物の憧れの存在」とはどういう人だと筆者は考えていますか。文章中の言葉を用いて、まとめてみましょう。

[]

発展問題

自分が、将来どういう分野で、自身の次の世代を支えていきたいかを考えてみましょう。自分で見つけられない場合は、友人や家族にも聞いてみましょう。

自分たちが経験してきた苦勞を、後輩たちが乗り越えられるよう行動できる彼らはとても素敵な大人だと思います。自分がどういう大人になりたいか、考える機会にしてみてください。



國吉美穂 NIEアドバイザー。興南中・高校教諭

こた 答えは15面にあるよ (第3週掲載)